

委員会活動

総務企画委員会 (川口政弥委員長)

先端半導体の研究と「持続可能性自治体」を調査 (5/22)

先端半導体研究センター (つくば市)

先端半導体研究センターは、先端半導体関連の研究開発から社会実装、人材育成までを一貫して推進し、国内に先端半導体技術を確保することを目的として、令和5年10月に設立されました。

先端半導体研究センターが所属する産業技術総合研究所全体の概要説明を受けるとともに、先端半導体研究センターの成り立ち、現状、研究内容などについて説明を受け、施設を視察しました。



先端半導体研究について説明を受ける委員

つくばみらい市役所 (つくばみらい市)

つくばみらい市は県内唯一の「持続可能性自治体」に位置付けられ、現在、特につくばエクスプレスみらい平駅周辺において人口が増加傾向にあり、また、「圏央道インターパークつくばみらい」の整備により、周辺地域の活性化が期待されています。

市内を視察するとともに、市の概況および人口増加の要因、人口増加のサイクルを作る取り組みなどについて説明を受けました。



つくばみらい市内を視察する委員

防災環境産業委員会 (飯田智男委員長)

坂東市岩井モール商店街と職業能力開発訓練の実施状況を調査 (5/17)

坂東市岩井モール商店街連合会 (坂東市)

坂東市岩井モール商店街は、平成10年ごろに行政と一体となった商店街近代化事業を実施し、モニュメントの設置や電線の地中化などで近代的な商店街として注目を浴びました。現在は、季節ごとのイベント開催(ばんどう応援市、ひな祭りイベントなど)や市イベントとのコラボレーション(岩井の夏まつり、将門まつり)で魅力向上に努めています。商店街と行政が連携した取り組みや今後の課題について説明を受け、商店街を視察しました。



坂東市岩井モール商店街を視察する委員

ポリテクセンター茨城 (常総市)

ポリテクセンター茨城(茨城職業能力開発促進センター)は、地域の事業主や労働者のニーズに対応できる柔軟性と多様性を持った総合的な職業能力開発施設となることを目指して平成15年に運営開始されました。

機械、電気・電子分野など、生産現場の実態に即したものづくり分野において、実習を中心とした職業訓練を実施しています。

在職者・離職者向け支援の取り組み状況について説明を受け、施設内にて実際の訓練の様子などを視察しました。



職業訓練の様子を視察する委員

保健福祉医療委員会 (水柿一俊委員長)

医療を支える後発医薬品製造工場と潮来保健所を調査 (5/24)

沢井製薬(株)鹿島工場(神栖市)

沢井製薬(株)鹿島工場では、主に後発医薬品の経口固形剤の製造を行っており、3つの製剤棟において、抗がん剤や免疫抑制剤などの高活性製剤を含む90品目以上を製造しています。

工場長や品質保証の担当者から医薬品の製造過程や現在の薬不足の要因などについて説明を受けるとともに、施設の視察を行いました。



医薬品の製造過程などについて説明を受ける委員

潮来保健所(潮来市)

潮来保健所は、昭和53年5月に建築されてから46年が経過し、建て替えの時期を迎えています。同保健所において実施されている業務についての説明を受けるとともに、課題の聞き取りを行いました。

また、保健所を所管している保健政策課から保健所の建て替え・移転についての検討状況や整備の考え方について説明を受けるとともに、保健所内の視察を行いました。



保健所内を視察する委員